



# 日々輝通信 No.6 令和3年10月4日発行

日々輝学園高等学校東京校 HIBIKI GAKUEN HIGH SCHOOL

## 心機一転の10月 Make a fresh start! 自らのアイデアと表現を楽しむ文化祭



夏休み中から準備開始

先週末は中間テストが行われ、テストに真剣に取り組む生徒の姿を見ることができました。10月となり、心機一転、今年度の後半を始めたいと思います。2学期は、分散登校から始まり1ヶ月が経過し、長かった緊急事態宣言も解除されました。「これからの感染防止について」(10月1日付け通知)でもお知らせしましたとおり、学校では引き続き十分な警戒を行ってまいります。ご家庭でもこれまで同様、感染防止にご協力をお願いします。

さて、いよいよ文化祭のシーズンとなりました。今年度はなんとか生徒の作品や表現活動を保護者の皆様にもリアルでご覧になっていただきたいと思っております。学校行事は、生徒の生活に変化を与え、日頃の学習や諸活動の成果を広く発表できる機会としてとても大事な体験活動であると思います。一つのことに向かって他者と協働しながら、課題解決や合意形成、人間関係づくりなどを学ぶことができるのも学校行事の大事な役目です。

入間市では、毎年10月に「入間万頭まつり」が開催され(今年も中止)、多くの外国の方々も参加しています。以前、国際交流広場で外国の方と話をしたときに、日本の高等学校、大学では文化祭を楽しんでいると言うと、「羨ましい」と言っていたことを思い出します。日本のように、何日もかけて色々な出し物やお店を、生徒が一から作り上げるという団結したイベントは、海外では珍しく思われるようです。入間市の姉妹都市のドイツバイエルン州ヴォルフラーツハウゼン市の方々もやってきますが、一緒にお酒を交わし、ウイナーを食べたり、ドイツ語はよくわからないのですが、これもまた楽しいのです。

茶畑祭に向け、これからが準備に熱が入る期間となります。コロナ感染にだけは十分注意して、皆で楽しめる文化祭となるよう期待しています。

学校長

## 第32回茶畑祭テーマ「千紫万紅」

今年の文化祭のテーマは、2年B組の生徒らが考えてくれたテーマが選ばれました。生徒の思いは「様々な花の色、色とりどりに咲く花を意味します。暗い気持ちになりがちな状況ですが、この熟語の意味のように、それぞれのクラスが個性のある企画を作り、来た人が明るい気持ちになるような文化祭を目指したいという思い」がテーマに凝縮されているようです。各クラス・部活動の発表内容が楽しみです。

### 文化祭実行委員長 3-A 酒井太郎

今年の茶畑祭は、2年ぶりにリアルで開催することになりました。以前のようにお祭り騒ぎという訳にはいきませんが、クラスや部活動の企画を直接見てもらう環境ができたことをとても嬉しく思います。

今年は、緊急事態宣言の影響で短縮授業やオンライン授業が多くなりました。そのため、企画の準備がうまくできなかったクラスや部活動もあるかもしれません。それでも放課後の時間や準備の時間を利用して、各団体、思い思いの作品を作っていることと思います。

色々と制限がある中ではありますが、皆さんが楽しめる内容になっていると思います。皆様のご来場をお待ちしております。



### クラス企画

クラス	タイトル
1-A	レトロメモリー
1-B	すごろく
1-C	映画『盟日』
1-D	インスタ映えスポット
2-A	帰りたい僕たちは謎を解く
2-B	劇場ヒビキ座
2-C	指名手配犯を探せ
2-D	コスプレ屋敷
3-A	モザイクアート
3-B	迷宮神社（お化け屋敷）
3-C	カジノ
3-D	夏休みの自由研究

### 部活動企画

- ◆鉄道パソコン部  
鉄道模型走行会
- ◆演劇部  
映画『補習』
- ◆軽音楽部  
やってみよう 空も飛べるはず
- ◆書道同好会  
書の花束

\*PTA・卒業生も楽しい企画を作成中です。

\*今回は、中学生やその保護者、卒業生等のご招待を叶えることはできなくなり、申し訳なく思っています。在校生の保護者の皆様のみ公開させていただきます。オクレンジャー「茶畑祭見学申込フォームをご利用され事前に申し込んでください。